

31H 土本詩乃 33H 中村理莉 32H 曾原竜乃介
 34H 森井保乃華 34H 堀下凌佑 36H 川端章嗣

■課題

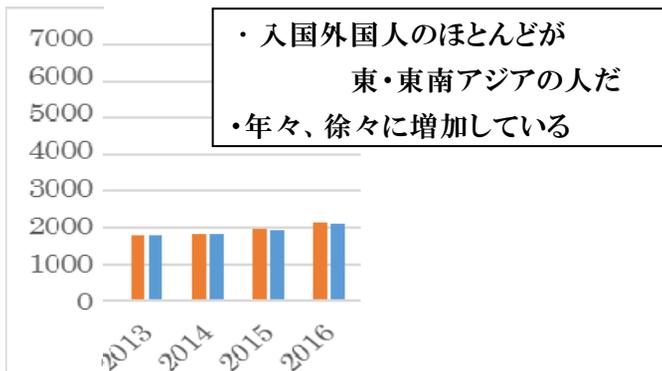
外国人の観光客数を増やすためには？

■解決策

東・東南アジアの観光客数を増やす

資格現状 (課題の背景)

【図1】能登空港の外国人利用者数



オレンジ；入国外国人 青；東・東南アジア

【図2】台湾

図表8. 訪日前に期待していたこと(複数回答)

順位	今回の訪日前に期待していたこと	比率(%)
1	日本食を食べること	72.7
2	ショッピング	67.0
3	自然・景観地観光	53.5
4	温泉入浴	42.4
5	繁華街の街歩き	38.7
6	旅館に宿泊	34.1
7	テーマパーク	23.9
8	日本の歴史・伝統文化体験	21.1
9	日本の酒を飲むこと	19.3
10	スキー・スノーボード	17.9

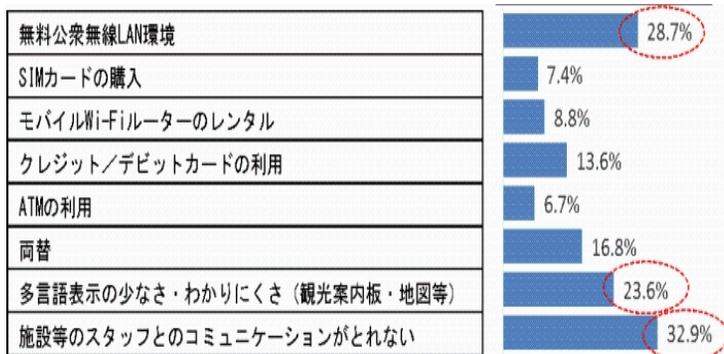
中国

図表16. 訪日前に期待していたこと(複数回答)

順位	今回の訪日前に期待していたこと	比率(%)
1	日本食を食べること	75.1
2	ショッピング	70.1
3	温泉入浴	59.9
3	自然・景観地観光	59.9
5	繁華街の街歩き	46.4
6	旅館に宿泊	33.8
7	テーマパーク	21.3
8	日本の酒を飲むこと	18.8
9	スキー・スノーボード	17.0
10	日本の歴史・伝統文化体験	15.8

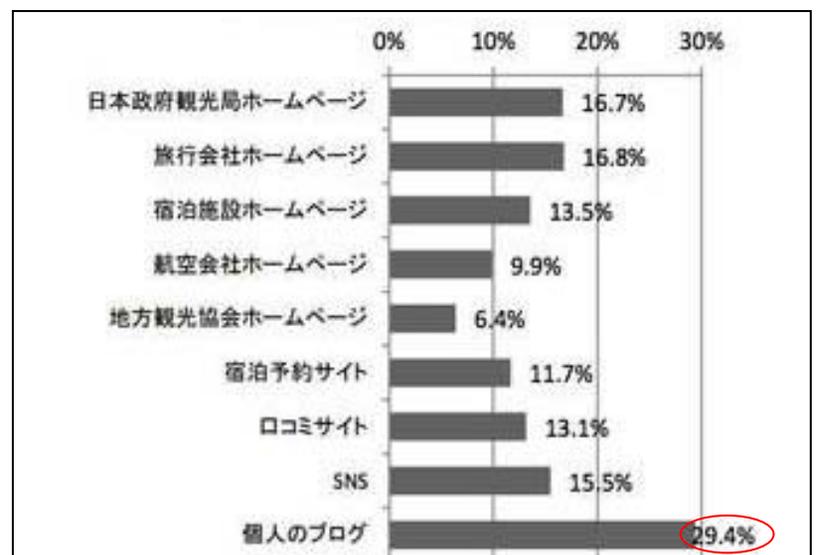
台湾と中国は日本食と温泉入浴に興味を持つ人が多い。

【図3】訪日中に困ったこと



・公衆無線LAN、多言語表記が少ないことやスタッフとのコミュニケーションがとれないことが課題である。

【図4】出発前に役立った情報源



個人ブログを利用する人が最も多い。

■具体的内容

和倉温泉をPRする

・おもてなしランキング1位の加賀屋やその周りの温泉宿を使用し、温泉街を作る

Ex) 浴衣の着付け&レンタル、足湯、手湯、温泉たまご体験、花見&散歩

・ご当地のおいしい食(寒ブリ、加能蟹、のどぐろ、あんこう、能登牛、能登野菜、地酒)

Ex) 能登の食材を使った日本食づくり体験

対応

・無料公衆無線LAN環境を整備する ex) Wi-Fi

・英語、中国語表記を増やす ex) 駅、空港

・旅館の従業員に最低限の英語力を求める Ex) 研修

PR方法

・個人ブログ Ex) 訪れた観光客が個人ブログに掲載したら特産物を贈る

■効果

能登の食材で日本食づくり体験

→能登の食材を認識してもらえる

→日本食に興味がある観光客を呼び込める

Wi-Fiや多言語表記の拡大とコミュニケーションの壁をなくす

→コミュニケーションや言語表記、無線LAN環境の不十分で訪日を断念していた人やリピーターが増える

和倉温泉の知名度UP

→能登全体の知名度の上昇につながる

→東、東南アジアの観光客が増える

■参考文献

【図1】 <https://honichi.com/data/immigration/notoairport/>

【図2】 <http://www.mlit.go.jp/common/001046320.pdf>

【図3】 <https://www.travelvoice.jp/>

【図4】 <https://honichi.com/news/2017/02/23/honichiprnokagiwakuch/>